

[整備事業者のためのフリーペーパー]

MSR

月刊 [エムエスアール]

8月号

メンテナンスショップレポート

令和5年7月5日発行(毎月5日発行)

特集 OBD検査まで1年 スキャンツールは万全か?



[連載]

エイミングを深く知るためのASVの基礎知識 / みんなの修理事例
儲けるためのマナー講座 / 実践M&A こんな時どうする?
車販取り組みのための基礎工事 / いずみの車検予約やってみた

人とクルマに優しい、
サービスの未来空間を創造。

BANZAI[®]

MSTシリーズ初の無線接続!

Windows10搭載タブレット!!

NEW



**OBD車検の時代へ、
整備ビジネスを変えるフラッグシップモデル登場!**

整備用スキャンツール

MST-nano

メンテナンスモード

DPFモード

車両登録機能

QRコード読取

高耐久タブレット採用

エイミング機能

LEDライト

印刷機能

国産乗用車／国産トラック・バス／輸入車合わせて**23メーカー**に標準対応

▲安全に関するご注意・ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。（型式・仕様は予告なく変更することがあります。）

BANZAI 株式会社 **バンザイ**

■本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19
TEL 03(3769)6880(代) FAX 03(3456)4691
<https://www.banzai.co.jp> E-mail: eigyo@banzai.co.jp



ISO9001認証取得
ISO14001認証取得

日本ユネスコ協会連盟

バンザイは SDGs を推進する
日本ユネスコ協会連盟の維持
会員として支援しています。

OBID 検査への対応・
コンプライアンス強化への対策はお済みですか？



OBID 検査用ツール

Windows 11 搭載タブレットで「特定DTC照会アプリ」のインストールが可能
自動車技術機構にサーバーへ直接データの送受信が可能！ ※別途インターネット環境の用意が必要

今秋発売予定

▲ 抜群の ▲
コストパフォーマンスを実現！

- OBID検査専用ツールとして活用することで、
整備用スキャンツールが使用中でもOBID検査が可能！

有償アップデートで
整備用スキャンツールも
OBID 検査 に対応！

タブレット型スキャンツール

型式認定
申請中



SSS-T2 EG3005-0000

- エーミング作業の利便性向上！
- HV/PHV/EV 診断機能充実！
※現在はトヨタのHVのみ対応。今後対応車種追加予定。
- わかりやすい診断レポート



コンピューター式検査システム



- OSSシステム連動可能！
- 検査業務の効率化を実現！



不合格項目も
一目瞭然！

コンプライアンス
強化

ヒューマンエラー
防止

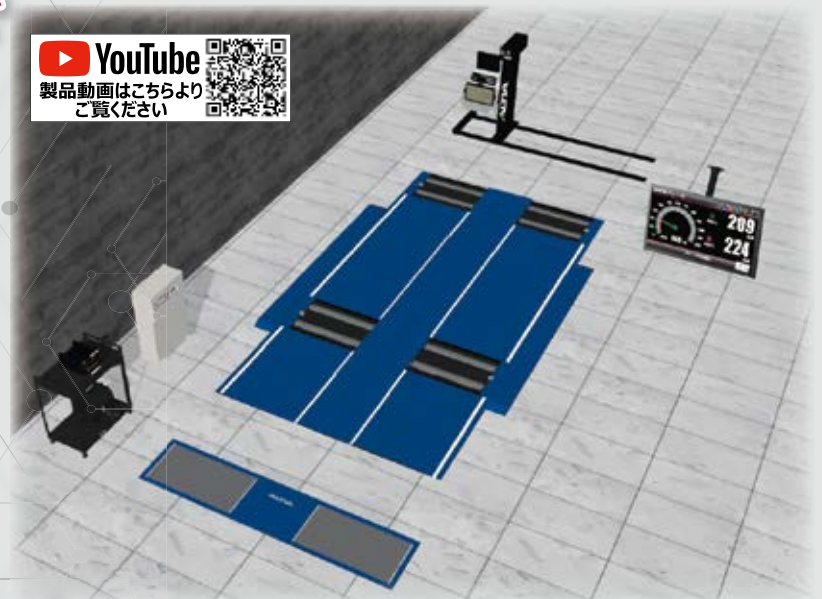
検査未実施を
防止



主な連動可能システム



- MSP「Web 継続システム」
- ブロードリーフ「スーパー検査員」
- 自検協「スマート継続OSSシステム」
- DIC ジャパン「OSS 一等書記官」
- ベルテイス「extreme」
- NS21「NS21システム」他



創造する信頼のパートナー



株式会社アルティア

〒104-6206 東京都中央区晴海 1-8-12 晴海トリトンスクエア Z 6 階

☎ 03-6777-0038

🌐 <https://altia.co.jp>

支店：札幌・仙台・首都圏・関東信越・名古屋・大阪・広島・福岡



売上どうする？

タイヤピットなら

プラン別1店舗あたり

年間平均送客

基本プラン：約20件
 シルバー：約25件!!
 ゴールド：約45件!!
 サテライト：約130件!!

※2022年度全国平均実績

イメージキャラクター
博多丸さん

イメージキャラクター
博多大吉さん

広告費は
なるべく
抑えたい

今の事業に
リンクする
新事業って



タイヤピットを通じて
新規顧客の獲得!!

リピーターを
獲得!!

タイヤ交換・取付工賃収入以外の
車検・整備などで **増収増益!!**

詳しくは
こちら▶



基本プラン

●登録更新費用/年額 6,050円 (税込)

●プラン利用料/月額 0円

シルバープラン

●登録更新費用/年額 6,050円 (税込)

●プラン利用料/月額 2,750円 (税込)

ゴールドプラン

●登録更新費用/年額 6,050円 (税込)

●プラン利用料/月額 4,950円 (税込)

低コストでカーユーザー様からのタイヤ交換・取付工賃収入が見込めます!!

プロトグループ

輸入タイヤ通販

AUTOWAY

タイヤピット

加盟公開店舗数全国 **3,400** 店舗突破!

※2023年4月当社実績

タイヤピット加盟に関する詳細は、オートウェイ **タイヤピット事業部**へ。

093-435-5500

受付時間 / 平日[月~金] 9:00 ~ 18:00

[整備事業者のためのフリーペーパー]

MSR

月刊メンテナンスショップレポート

令和5年7月5日発行

¥0

8月号



[表紙写真]

特定整備の様々なレギュレーションをクリアし、自動車整備の上流へ。イノベーションを目指す小田安全硝子。西日本最大の自動車ガラス事業者がチャレンジを続けている。

Webで閲覧できます

MSRは全国の配布協力業者からお届けします。お近くに配布協力業者がない場合、下記より閲覧できます。

<https://bsrweb.jp/>
メンテナンス
ショップレポート

発行人 小川直紀
編集長 八木正純
編集・制作スタッフ 市井康義、長谷川明憲
樋口祥三郎、高橋美穂
青山竜、木下慶亮
加戸利一
取材協力 泉山大（プロジェクトD）

発行所 株式会社プロトリオス

[東京編集課]

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3

TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

[大阪編集課]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7

TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

印刷所 共立印刷株式会社

特集

06 OBD検査まで1年
スキャンツールは万全か？

例年であればそろそろ補助金の申請受付を迎えるスキャンツール。今年は特に、1年後に控えるOBD検査をにらんだ検査用スキャンツールも対象となるだけに、検査用スキャンツールを中心に最新のスキャンツールに迫る。

08 整備用と検査用の違い

10 国交省に聞く

12 商品紹介

- ・アルティア ・イヤサカ ・インターサポート
- ・ツールプラネット ・バンザイ

16 第37回 オートサービスショー 2023 開催

30 Topics MSC 感動夢工場第2回総会・研究会

工場ルポ

29 小田安全硝子（大阪府大阪市）

情報

22 情報BOX

連載記事

18 エイミングを深く知るためのASVの基礎知識

寄稿 佐野 和昭

24 儲けるためのマナー講座

寄稿 早蕨 原田さとみ

25 車販取り組みのための基礎工事

寄稿 チームエル 関友信

26 いづみの車検予約やってみた

寄稿 ヤマウチ 人見いづみ

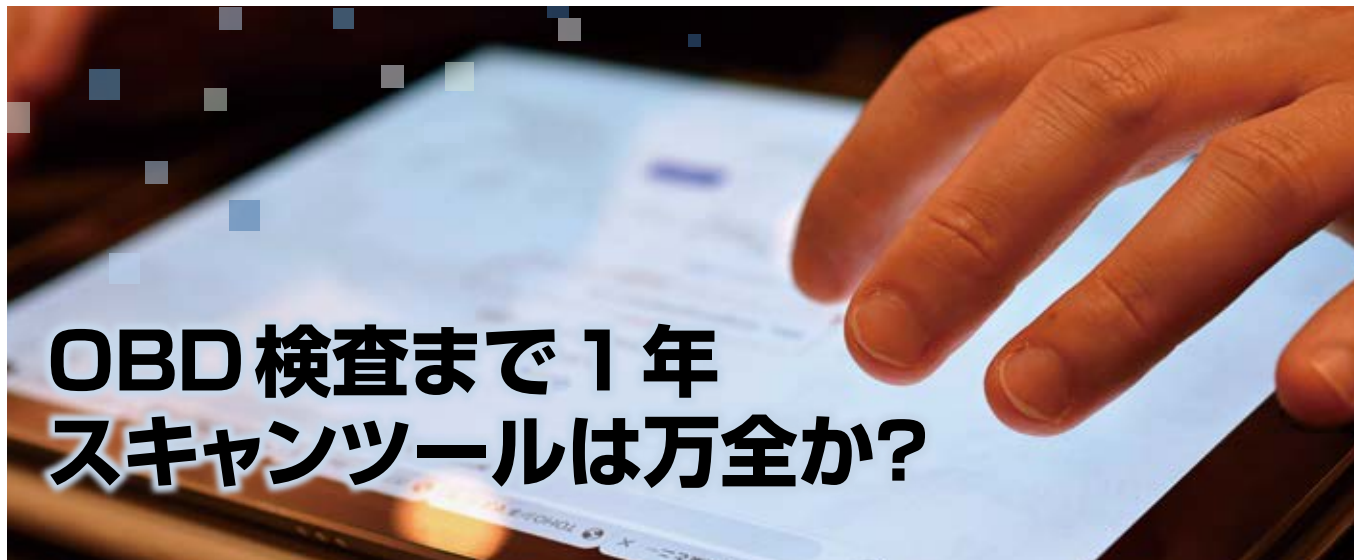
27 みんなの修理事例

長谷川自動車（新潟県燕市）

28 実践M&A こんな時どうする？

寄稿 フォーバル 寺越基格

31 業界徒然草



OBD 検査まで 1年 スキャンツールは万全か？

夏の風物詩は数あれど、自動車整備業界に身を置く読者諸氏であれば、8～10月といえばこの時期、申請受付をしているスキャンツール補助金を思い浮かべるのではないだろうか。補助金を活用する・しないにかかわらず、「整備用」スキャンツールのニーズはほぼ一巡したのではないかとも見られる昨今ではあるが、今年はそうもいかなそうだ。

というのも、ご存知の方も多いかと思うが、来年10月からはOBD検査が開始となり、これに紐づいて「検査用」スキャンツールも車検機器として型式認定が必要となる。早くも今年3月には型式認定の検査用スキャンツール第1号が登録され、本稿執筆に前後して第2号も登録されるなど、着々と来年の検査開始に向けて準備が進んでいる。

国土交通省の話（後述）では、今年のスキャンツール補助金は整備用スキャンツールのみならず、検査用スキャンツールも申請対象になるとのことなので、例年とは違う意味で熱い補助金となることは必至なのである。

OBD 検査の概要

ここで改めてOBD検査の概要について確認しておこう。OBD検査は、自動

運転技術等の電子装置に搭載された自己診断機能である車載式故障診断装置（OBD）を利用した新たな自動車検査手法である。

OBDによる自動車の装置の故障診断の結果、当該装置に不具合が生じていると判定した場合には、自動車のコンピューター（ECU）に故障コード（DTC）が記録される。

OBD検査では、保安基準不適合となるDTCを「特定DTC」としてあらかじめサーバーに蓄積しておき、自動車からDTCを通信により読み取った上で特定DTCに該当するかの確認を行う。

2024年10月以降、使用過程における検査（いわゆる車検）の際、車検証の備考欄に「OBD検査対象」などの記載がある車両については、通常の検査項目に加えてOBD検査を実施する必要がある。

OBD検査の対象となる車両は、国産車は令和3年（2021年）10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）、輸入車は令和4年（2022年）10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）となっている。

ただし、車検証に「OBD検査対象車」（電子車検証の場合は「OBD検査対象」）などの記載がある場合でも、法令等で定められた条件によりOBD検査を実施しなくてもよいことがある。

OBD 検査実施までのスケジュール

冒頭に触れたようにハード面で検査用スキャンツールの型式認定が始まっている一方、環境面でも着々と準備が始まっている。

大きなところでは4月21日からOBD検査のポータルサイト*及びOBD検査にかかわるコールセンターが開設された。直近でいうと車検証電子化に伴ってポータルサイトが開設されたが、同様のものにとらえていただければよい。

またポータルサイト開設と同時に、事業場IDの申請受付も開始された。OBD検査を行うにはシステム面でDTC照会アプリやOBD検査結果参照システムが必要となるが、このアプリや参照システムをダウンロード・インストールするために必要となるのが事業場IDである。なお、事業場IDの申請はオンラインで行うことができる。

事業場IDは1つの事業場につき1つ付与され、OBD検査の利用申請には個別申請とグループ申請2つの方法がある。個別申請は管理責任者が事業場

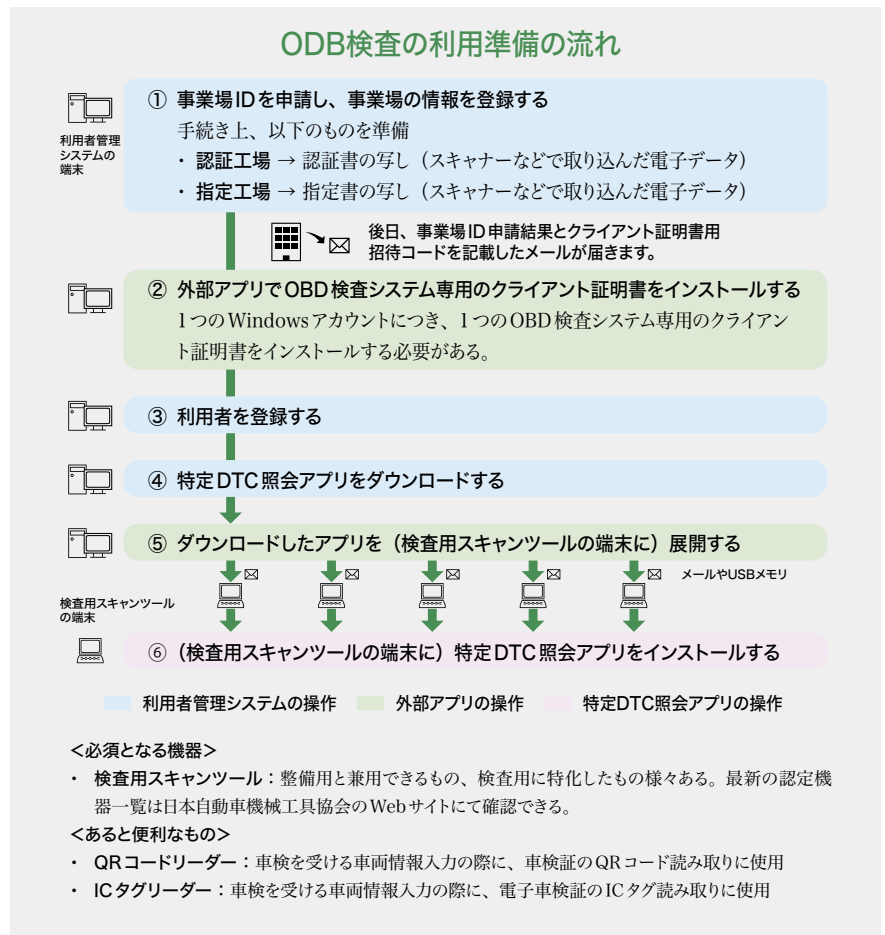
ごとに個別に申請する方法。一方、グループ申請は統括管理責任者が複数の事業場をグループとしてまとめて申請する方法で、グループを統括する拠点の形態によって2つの方法がある。

①グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場である場合—グループ（枠組み）の利用申請、グループを統括管理する拠点（本社）の利用申請、グループに所属する事業場の利用申請

②グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場でない場合—グループ（枠組み）の利用申請、グループに所属する事業場の利用申請
すなわち、統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場である場合は、統括管理する拠点の分の利用申請も必要ということになる。

そして、OBD検査開始1年前に当たる本年10月からは、担当職員の習熟度を上げるべくOBD検査のプレテストが開始される。こちらも車検証電子化と同様の建て付けだ。

その他、OBD検査に関連するスケジュールと言えば、やはり冒頭でも触れたスキャンツール補助金も外せないだろう。例年であれば8~10月に申請期間を設けているのだが、2023年度分について



は本稿執筆時点では明確なアナウンスは出ていない。このあたりは後述の国土交通省のインタビューを参照されたし。

OBD検査のために準備するもの

改めてになるが、OBD検査は民間

車検場いわゆる指定工場であれば対応は必須、また認証工場も車検をスムーズにこなすため、事前チェックを行いたいのであれば対応する意義はある。

OBD検査に対応するための手続きの流れ、準備するものは上図の通り。

		2022年度				2023年度					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
マイルストーン				リリースみきわめ (3末)	システムリリース プレスリリース (4/21)						プレ運用開始 (10~)
OBD検査システム		1/10~2/1 受入0	2/6~3/15 受入1	3/23~4/12 受入2							運用
ポータルサイト				構築							運用
コールセンター				業務研修 実機操作							運用
事業場 ID申請	個者申請							第1回配信 (6/1ごろ)			申請期間(各整備事業者)※順次配信
	一括申請				~4/14						とりまとめ(各振興会)※順次
スキャンツール認定 (機工協)				2/20~4/14 認定試験	確認①(機構)	第1回配信 (5月中)					確認(機構)※順次確認 最終配信 (9末まで)
											認定試験(再開)

検査用スキャンツールを理解する 整備用スキャンツールの違いと選び方

検査用スキャンツールが 市場に登場

OBD検査のプレ運用を目前に控え、検査用スキャンツールのリリースが始まった。3月31日にバンザイの「MST-nano」が検査用スキャンツールとして初めて認定され、6月には、インターサポートの「G-scan Z」が日本自動車機械工具協会（機工協）から認定を受けた。いずれも整備用スキャンツールからのアップグレードである。

整備用スキャンツールは機能に沿った自由な開発が可能だが、検査用スキャンツールは公的なレギュレーションをクリアした検査機器として機工協より認定を受けなければならない。それが整備用スキャンツールと検査用スキャンツールの決定的な違いである。

なお、検査用スキャンツールは、検査機器ながら、現時点において、1年に一度の定期校正の対象ではない。

検査用スキャンツール 通信の流れ

整備用スキャンツールは言うまでもなく、故障診断をはじめ、メンテナンスサポート機能などあくまでも整備を行うために用いるスキャンツールだが、検査用スキャンツールは特定DTCを読み込み、自動車技術総合機構のサーバーと通信して検査の可否を行うもので、そも

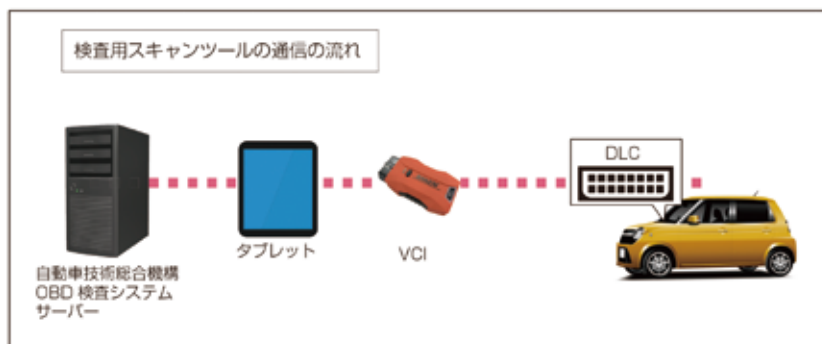


検査用スキャンツールの認定機第1号となったバンザイのMST-nano。MSTシリーズ初のVCIを採用した。10.1インチタブレットと二次元コードリーダーを標準装備。

そも機器としての目的が異なっている。

このため、整備用スキャンツールには対応メーカーや対応車種などカバレッジが重要視される。たとえば、「国産車9ブランドに対応」や、「輸入車3メーカーにも対応」などのカバレッジは整備用スキャンツールを選ぶ上で、プライオリティの高い要素のひとつだ。この点からも分かるように整備用スキャンツールは車種の特定をスキャンツール自身が

行っている。一方、検査用スキャンツールは車種の特定を行っていない。特定DTC照会アプリでQRコードを読み取り、車種の車検証情報を基にECUへのアクセスに関する情報を出し、特定DTCの読み込みを促す仕組みである。それに基づき、検査用スキャンツールはECUと通信し、特定DTC情報を収集、自動車技術総合機構サーバーに照会する仕組みとなっている。



「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

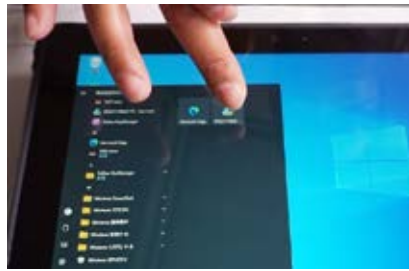
検査用スキャンツールを使った実際の使用例（取材協力：ハンザイ）

検査用スキャンツールの プロトコル

検査用スキャンツールのハードウェア要件のひとつに車載通信と対象のプロトコルが規定されている。排ガス関連には道路運送車両法の保安基準の細目を定める告示に規定されている通信プロトコルを用いるが、安全関係の特定DTCにかかわる通信プロトコルは、対象の車載装置毎にDoK-Line方式、DoCAN方式、あるいはDoIP方式が求められる。DoIP方式とは近年欧州車の車載通信に利用されているEthernet（イーサネット）の通信プロトコルのひとつである。Ethernetは高速通信の特徴を持つ通信規格であり、クルマの高度化に合わせて、新たな車載通信として注目を集めるようになった。そのEthernetにおいてデータのやり取りを行うプロトコルがDoIP方式である。近年、国産車でもEthernetを採用する方向性が示されており、日産はすでに2代目リーフで採用した。今後、検査用スキャンツールでもCANだけでなく、DoIP方式に対応する機種が開発される流れとなる。

整備用と検査用の共用

現在、発売されている検査用スキャンツールはいずれも整備用検査機器から転用が可能になった機種で、もちろん併用することができる。ただし、実際の使用として併用は好ましくない。併用したことで、肝心の時に検査で使用できなければ、本末転倒であり、作業場の生産効率は悪くなるだろう。また、検査機器は完成検査場に備えておく必要がある。監査が入り、完成検査場に検査用スキャンツールがない場合、問題視される可能性も否定はできないのであ



① 特定DTC照会アプリを起動



② アプリログイン後、車両登録を実行



③ QRコードによる車両情報の入力

る。検査用スキャンツールは専用機として保有するのがベストだ。

ただ、認証工場の場合、特定DTC照会アプリで「確認モード」のみの使用に留まるのであれば、整備用スキャンツールとの併用がベターといえる。その方が断然ローコストだ。いずれ、整備用との併用ではなく、検査用だけの機能しかない専用スキャンツールが発売されるだろう。コストが安価になることも考えられるため、スキャンツール選びの選択肢は増えるはずだ。

車検証の読み込みには リーダーがおすすめ

特定DTC照会アプリを使用しての実際の検査はアプリを立ち上げてから、合否判定、そして結果のPDFレポート



④ OBD検査の「実行」をタップし、検査を開始



⑤ 合否判定結果。不合格の表示



⑥ 検査結果のレポートを作成

を出すまで、おおよそ10分弱といったところである。ある程度、このオペレーションに慣れてくれば6~7分でOBD検査を完了することは可能だ。車両の登録はQRコードリーダーか電子車検証の場合、ICタグリーダーを使用すると作業は早い。手動は入力を誤ってしまうことがあるが、リーダーを使えばその心配もないので、リーダーを使用するのがおすすめである。電子車検証の交付とOBD検査対象車はリンクしていないので、初期の対象車には旧来の車検証が残ることになり、しばらくはQRコードリーダーとICタグリーダーの併用となる。検査用スキャンツールにはQRコードリーダーが標準でセットされているものがあり、スキャンツール選びのポイントにもなるだろう。

事業場ID申請などOBD検査への準備を整え10月からのプレ運用を活用いただきたい

OBD検査制度開始に向けた今後の予定や整備事業者に対する支援体制について、国土交通省自動車局整備課専門官・森山真人氏に話を聞いた。



国土交通省自動車局整備課
専門官 森山真人氏

—まず、OBD検査制度を開始する背景と目的について聞きたい

近年、衝突被害軽減ブレーキに代表される先進安全装置の普及が進んでいる。先進安全装置は事故の防止に非常に有効だが、その役割を果たすためには各種装置が正しく機能していることが求められ、逆に故障時には誤作動等により事故につながる恐れがある。衝突被害軽減ブレーキをはじめとした自動運転技術等に用いられる電子制御装置の目に見えない故障に対応するため、車検においても先進安全装置を電子的に検査する、OBD検査を2024年10月より開始することとした。

—OBD検査に関するポータルサイトが公開されたが、その目的は

OBD検査のポータルサイトはOBD検査システムを開発した自動車技術総合機構（機構）が開設したものである。

OBD検査に関する各種情報発信や学習支援のほか、チャットボットによる質問への自動回答機能等も用意されており、自動車整備事業者がOBD検査の対応を進める際に有益な情報源とな

るWebサイトであると認識している。

—同ポータルサイトに“車検証に「OBD検査対象車」（電子車検証の場合は「OBD検査対象」）などの記載がある場合でも、法令等で定められた条件によりOBD検査を実施しなくてもよいことがあります。”との記載があったが、当てはまる具体的な事例を教えてください

現時点においてもOBD検査対象車両の車検証には「OBD検査対象車」と記載されている。そのような車両においては、OBD検査が始まる2024年10月までは「OBD検査対象車」と記載されていても「OBD検査を実施しなくてもよい」車両ということになる。

また自動車メーカー等に対しては、型式指定を受けてから原則半年以内に特定DTCを機構へ提出することが求められている。また、特定DTCの提出を受けた機構においては、特定DTCの検証及びサーバーへの反映などの作業が必要となる。自動車メーカー及び機構がこれらの準備や作業を行う猶予期間として、型式指定を受けてから2年間はOBD検査が適用されないという規定が

告示において示されている。そのため、たとえば商用車などにおいて、型式指定を受けてから2年が経過する前に車検を受ける場合には、車検証に「OBD検査対象車」と記載されていても「OBD検査を実施しなくてもよい」車両ということになる。

特定DTC照会アプリを使用すれば検査要否が表示されるので、ご確認いただきたい。

—今年10月に予定されているOBD検査のプレ運用について、実施概要を聞きたい

今年4月には機構が、先ほど話に上がったポータルサイトの開設とOBD検査システムの運用を開始しており、10月に予定されているOBD検査のプレ運用に向けた準備が予定通りに進んでいると考えている。

OBD検査のプレ運用の詳細は検討中ではあるが、希望する整備事業者が任意に参加できる形式にする予定。OBD検査を行うためには機構に対する事業場IDの申請などが必要となるが、それらの準備が整っている整備事業者であれば、誰でも参加できるものとする

予定である。

また、機構や軽自動車検査協会の検査場においてもプレ運用を実施する予定であり、実施方法の詳細を検討しているところである。

—天災が発生した場合や機構サーバーがダウンした場合、「車載式故障診断装置を活用した自動車検査手法のあり方検討会」の最終報告書などで代替措置が示されている。では、通信会社の障害などで機構サーバーに接続できなくなった場合の対応は、どのように考えているのか？

ご指摘の通り最終報告書において、機構のサーバーがダウンした場合や天災・停電等により広範囲にネットワーク障害が発生した場合に、警告灯の目視確認で検査するという代替措置を設定することが示されている。詳細については現在検討しているところであるが、これまでも停電などが発生して、整備工場の機器が一時的に使えなくなるようなケースはあったと考えられ、そのようなケースと同様に、一定時間内に復旧するレベル感の通信障害であれば、代替措置は適用しないことを考えている。

代替措置の詳細については、関係者に対する周知期間も必要となるため、OBd検査開始前に決定・公表する方針である。

—整備用スキャンツールと検査用スキャンツールは、今後統一されていくのか

現時点（6月20日）では、検査用スキャンツールとして2機種が日本自動車機械工具協会の型式認定を受けてお

り、その2機種はいずれも整備用スキャンツールの機能を有している機器だと認識している。

一方、6月に開催されたオートサービスショーでは、検査用のみに機能を限定したスキャンツールも提案されていた。今後は検査用に機能を限定したスキャンツールも型式認定を受けると想定され、すでに整備用スキャンツールを所有している事業場においては、そのような機器が導入候補に挙がるのではないかと。

整備用スキャンツールとの一体型でも検査用スキャンツール単体型でも、型式認定を受けた検査用スキャンツールであれば、OBd検査の対応は可能である。事業者ごとに環境が異なるため、個々の整備事業者の状況に応じて適しているものをご用意いただきたいと考えている。

—今年度もスキャンツール導入補助金は予定されているのか？

今年度も予算を確保しており、スキャンツール導入補助制度を展開する計画である。

補助内容としては、OBd検査に使用するスキャンツールを購入する経費の一部補助として、補助率は1/3以内、上限額は1事業者当たり15万円を予定している。

また今年度は、従来のエネルギー対策特別会計に加え、自動車事故対策勘定からも予算を確保しており、前年度よりも予算額が増加している。

補助制度の開始時期については、検査用スキャンツールの型式認定の進捗なども見ながら検討しているところである。また、10月に開始するプレ運用ま

でに検査用スキャンツールを取得したいと考える整備事業者もいると認識しており、そのような事情も加味して開始時期を決定する方針である。

—整備事業者に向けて一言

OBd検査を実施するためには、まずは機構に事業場IDを申請し、IDが付与されてから検査用スキャンツールへ特定DTC照会アプリをインストールする必要がある。

IDの申請を受けた機構は申請内容を審査するため、一度に申請が集中すると、IDが付与されるまでに時間を要する可能性がある。そのためプレ運用やOBd検査制度開始直前に申請するのではなく、ぜひ余裕を持って申請していただきたい。IDの申請は検査用スキャンツールがなくても可能である。

また、OBd検査はインターネットを通じて機構サーバーにアクセスし検査結果を得るという、従来の車検にはなかった検査方法になる。一度検査をすれば作業の流れなどを理解してもらえと思うが、初めて作業に臨む時には戸惑うことがあるかもしれない。

10月から開始を予定しているOBd検査のプレ運用は、ID申請や検査用スキャンツールなどの準備が整っている整備事業者であれば、どなたでも参加いただける予定である。検査制度がスタートする前に、ぜひプレ運用で検査の流れを確認してほしい。また、プレ運用に参加して何かお気づきの点があれば、ご意見をいただきたい。多くの整備事業者の方に、OBd検査のプレ運用を活用いただければ幸いである。

OBD検査専用ツール（今秋発売予定）

本製品は Windows11 搭載タブレットと OBD コネクタに接続する VCI をワンパッケージにした OBD 検査に特化した検査専用ツールである。

現状の整備用スキャンツールはタブレットタイプが増えてきているものの、基本ソフト（OS）が Android のものが多く、OBD 検査に必要な「特定 DTC 照会アプリ」（以下アプリ）は Windows のみ対応のため、Windows 搭載のタブレットもしくはパソコンが別途必要。

その点、本製品のタブレットは OS に Windows を搭載しているため、ア

プリをインストールすることができ、ユーザーで PC やタブレットを用意することなく、OBD 検査を実施できる（自動車技術総合機構のサーバーと通信を行うためのインターネット環境は別途必要）。

本製品は OBD 検査専用であるため、整備用スキャンツール使用時であっても OBD 検査を行うことができ、作業の利便性向上に貢献する。希望小売価格 12 万円とコストパフォーマンスも高い。

また、同社取り扱いの整備用スキャンツール「SSS-T2」は、OBD 検査

アルティア

問い合わせ先

東京都中央区晴海 1-8-12
晴海アイランド トリトンスクエア Z 棟 6 階
TEL 03-6777-0038
<https://www.altia.co.jp>

に対応すべく、型式認定申請中（有償にて専用ドライバーを用意。アプリのインストールされた Windows PC またはタブレットが別途必要）。



OBD検査対応スキャンツール「G-SACN Z」

1 台で整備用スキャンツールと検査用スキャンツール両方の機能を兼ね備えた、トータルサポートの新基準を目指すスキャンツール。検査用スキャンツールとしては2番目の早さで、日本自動車機械工具協会の認定型式「ZENITH Z5」を取得した(6月12日、型式試験番号は JASEA-KS-2)。

整備用スキャンツールとしても、診断ソフトは国産 11 社、トラック・バス 11 社、輸入車 33 社と圧倒的なシステム対応項目数と内容を誇る。

しかも、旧カプラから先進の ADAS 搭載の車まで、幅広い車種に対応して

いるので、新規に整備用スキャンツールの導入を考えるにも最適な選択と言える。

また、検査用スキャンツールとして使用する場合は、OBD 検査対象車両と本機を DLC ケーブルにて接続し、さらに特定 DTC 照会アプリをインストールした Windows パソコンもしくは Windows タブレット端末（対応 OS は Windows10 以上）を別途用意し、USB ケーブルで接続する。

対応する通信プロトコルは ISO14229、ISO15765、ISO14230、ISO15031-5、SAEJ1979。

イヤサカ

問い合わせ先

東京都文京区湯島 3-26-9
TEL 03-3833-6111
<https://www.iyasaka.co.jp>



整備用スキャンツールとしても検査用スキャンツールとしても活用できるため、初めてスキャンツールを導入するには最適な 1 台と言える

Z シリーズを使った OBD 検査についてはこちら→



これ1台でOBd検査は完結 「G-SCAN Z Tab OBdモデル」

OBd検査の胆となる特定DTC照会アプリを使うためには、Windows10以上に対応したパソコンもしくはタブレット端末が必要となる。現在市販されている整備用スキャンツールでもタブレットタイプは存在するが、基本システムがAndroidのものが多く、実はそのままではアプリが使えない。

そんな課題を解消したのが、「G-SCAN Z Tab OBdモデル」だ。整備用スキャンツールとして「G-SCAN Z」の機能はそのままに、本体がWindowsベースでできており、

これ自体に特定DTC照会アプリをインストール可能。通信用のSIMも内蔵しているので、OBd検査用サーバーとの通信もできる。あとは本機とOBd検査車両を接続すれば、機器を追加することなく、OBd検査に対応予定。Wi-Fi工事も面倒なネットの設定作業も必要ない。しかも、インターネットの通信料金は初年度無料（ドコモ回線のSIM搭載済）。アフターサポート（整備サポートセンター or ソフトウェアアップデート1種以上）を更新すれば2年目以降も通信料半額で利用できる（更新割引なし¥60,000/年→更

インターサポート

問い合わせ先

茨城県水戸市城南1-6-39 INSビル
TEL 029-303-8021
<https://g-scan.jp>

新割引あり¥30,000/年、いずれも税別)。



整備用としても検査用としても使えるオールインワンモデル。追加機器なしでOBd検査に対応できるのはうれしい

EVバッテリーの残量をチェック可能「TPM-TAB」

国産車最強ツール「NANO-BT」、輸入車最強ツール「iSCANe」という2つの機器を1台のタブレットで操作できる整備用スキャンツール。エイミング調整から作業証明書作成までこの1台で完結できる。

NANO-BTでは国産乗用車8メーカー、国産トラック4メーカー、欧州車11メーカーの計23メーカーに対応。iSCANeでは欧州車、アメリカ車、アジア車の計54メーカーに対応。今回のバージョンアップで、EV・PHV・HVのバッテリー残量をチェックできる機能が追加された。中古車ビ

ジネスや低年式車の新たな診断メニューなど幅広い使い方が期待できる。また、別売の情報ツール「ADASキャリブレーション」の機能が実装されるなど、さらなる進化を遂げた。

検査用スキャンツールへの対応状況

スキャンツール開発では定評のある同社だけに、もちろん検査用スキャンツールへの対応も抜きなし。今回紹介した「TPM-TAB」をはじめ、7インチモニター搭載のフラッグシップモデル「TPM-7」、5インチモニター搭載のオールインワンモデル「TPM-5」を

ツールプラネット

問い合わせ先

岐阜県岐阜市旭ヶ池町43-2
TEL 058-246-1733
<https://www.toolplanet.jp>

検査用スキャンツールとして申請予定(記事執筆時点)。



スキャンツールを介して実施するエアコン冷媒ガスの回収にも新たに対応。車両情報検索やFAINESへのアクセスも簡単に

検査用スキャンツール型式認定第1号「MST-nano」

検査用スキャンツールとして第1号で型式認定を受けたスキャンツール。また、本機は整備用スキャンツールとしても親しまれてきているため、整備用スキャンツール兼検査用スキャンツールというマルチな活躍が期待できる。

OBD 検査に必要な、特定 DTC 照会アプリは現在 Windows にのみ対応している。近年増えているタブレットタイプ (+VCI) のスキャンツールの多くは基本ソフト (OS) が Android のため、照会アプリをインストールすることはできないが、MST-nano は OS が Windows10 となっているため、本機

だけで OBD 検査が完結できる (特定 DTC 照会アプリのインストールには今後発売予定の「OBD 検査対応キット」が別途必要)。もちろん、整備用スキャンツールとしても優秀で、国産乗用車 8 メーカー、国産トラック 4 メーカー、欧州車 11 メーカーの計 23 メーカーの診断に標準で対応。また、特定整備 (電子制御装置整備) には欠かせないエイミング機能も充実しており、国産乗用車、国産トラック、輸入車のエイミング作業に対応している。さらに、国産乗用車についてはエイミングに必要な基準値データを確認できるエイミン

バンザイ

問い合わせ先

東京都港区芝 2-31-19

TEL 03-3769-6880

<https://www.banzai.co.jp>

グガイドも搭載している。

OBD コネクターにつなげる VCI はタブレットとは Bluetooth による無線接続、外し忘れ防止のブザーや接続位置を示す LED を搭載するなど死角なし。



コラム

ズバリ今年度の補助金申請はいつからなのか？

冒頭でも触れたが、スキャンツール導入補助金は例年ならば8月前後に申請受付を開始する。しかるに、今年度は「検査用スキャンツールも補助対象とする」ことを国土交通省が早々に公言していた一方で、検査用スキャンツールの型式認定は遅々として進まず、ようやくここへ来て2機種が認定を受けるに至った次第。

水面下では7月から申請受付開始という情報もあるにはあったが、本特集の国土交通省へのインタビューにこそなかったものの、「補助金の申請受付開始は検査用スキャンツール (の型式認定) がある程度出そろってから」と

いうとの噂もある。

はたして今年度の補助金はいつから申請受付開始となるのだろうか？ 数少ないヒントから予想してみよう。型式認定を行う日本自動車機械工具協会 (機工協) が5月に開催した通常総会において、「今年度は30機種程度の型式認定を予定している」と発表していた。その後、本誌でも裏取りのため機工協に話を向けたところ、上記の数字は「過去の整備用スキャンツール型式数から推定したもので確実な数字ではない」との回答が得られた。

とはいえ、長らく1機種だった型式認定機もここへ来て2機種になったこ

とからも、今後型式認定が加速する可能性は十分に考えられる。

記事執筆時点で今年度 (2024年3月末まで) は残り9ヵ月、ここまでに30台が型式認定を受けるとすれば毎月3.3台ペースということになる。10日に約1台ペースの型式認定というもなかなかのハードルだと思えるので、月2台がいいところだろうか。だとすると、7~10月で8機種増えて、既存の2機種を加えればこれで10機種ということになる。かと言って、10機種出揃ってから11月から申請受付開始というのも例年からすると待たせ過ぎの感があるので、ズバリ10月受付開始と予想する。

【入庫管理】と【ネット予約】を一元化！ 入庫予約管理はこれ一本！

totoco

- ネット予約もできるクラウド型入庫管理システム

本日入庫予定のお車									
予約日	時刻	車種	車名	予約状況	予約種別	予約内容	予約種別	予約内容	予約種別
2022-04-27	09:00	トヨタ自動車	アウソク	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み
2022-04-27	11:00	トヨタ自動車	アウソク	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み

預かり中のお車									
予約日	時刻	車種	車名	予約状況	予約種別	予約内容	予約種別	予約内容	予約種別
2022-04-26	09:00	トヨタ自動車	アウソク	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み
2022-04-26	09:00	トヨタ自動車	アウソク	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み	予約済み

- 各種システム連携可能



- 基幹システム連携



株式会社ヤマウチ

〒761-8057
香川県高松市田村町397番地

087-867-6868

(平日 9:00 ~ 17:00)

<https://totoco.biz>



第37回 オートサービスショー 2023 開催

国内外から各種自動車検査用機器等を一堂に集めて展示する、第37回オートサービスショー 2023が、6月15～17日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された。例年、隔年開催の本展示会だが、

コロナ禍の影響で前回（2021年）は中止となったため、実に4年ぶりの開催となった。今回は103者（96社、7団体）、「ヒトとクルマの未来を守る整備機器」をテーマに様々な提案を行った。

また、会場内では整備事業者の課題解決に役立てるべく、6つの整備セミナーも開催された（なお、来場者は3日間合計で35,770人）。ここではそのごく一部を紹介しよう。

アルティア



型式認定申請中ながらもOBD検査に特化した検査用スキャンツールが注目を集めた。希望小売価格12万円を目指しており、追加購入でも負担が少ないのがうれしい

安全自動車



参考出品ながら、車体の回りを自走することでエイミングを自動で完了するエイミングロボットが来場者の注目の的。未来の自動車整備を想起させずにはいられない

イヤサカ



EVのバッテリー交換のみならず整備への対応も視野に入れ、使い勝手のよい多間接アームを組み合わせた低床アームの門型リフト。バッテリーの置きき台とベストマッチ

インターサポート



会期直前に検査用スキャンツールとして「G-SCAN Z」が第2号機として型式認定を取得。「G-SCAN Z Tab」（写真）、「G-SCAN Z Tab OBD」も認定取得に向けて準備中

京都機械工具



京都大学と共同開発し、強度を維持しつつ肉抜きにより軽量化を図るなど、トポロジー最適化を施したハンドツールの新ブランド「next」が今秋始動

ツールプラネット



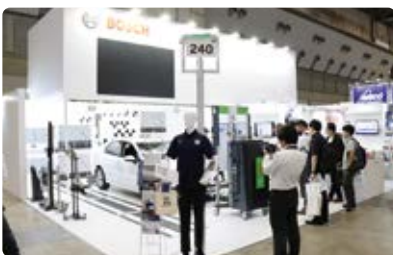
国産車と輸入車の市場最強ツールを統合したスキャンツール「TPM-TAB」。EV・PHV・HVのバッテリー診断機能を追加しパワーアップ。エアコンガス回収にも対応する

バンザイ



カメラエイミング、レーダーエイミングに対応し、ターゲット位置の補正や位置情報の確認などが付属のタブレットで操作できるエイミングサポートツール「Q-DAS」

ボッシュ



EDRデータを活用して車両骨格のダメージなどを数値化・見える化する新技術「Bosch Car History Report (BCHR)」を公開した

明治産業/マーレトレーディングジャパン



Seikenエーミングモニター、マーレのADASキャリブレーションツールの他、参考出品として大型車対応のキャリブレーションツール「jaltest ADAS」を展示した

新刊

好評発売中

「整備」を制す!!!

「電気」を制する者は

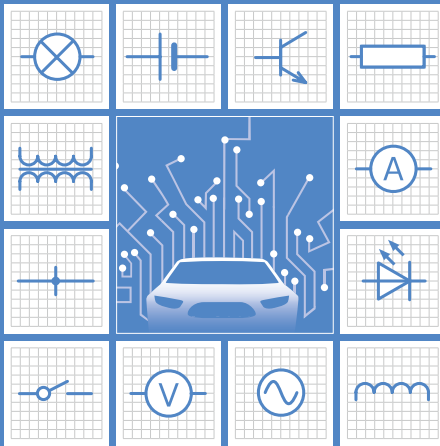


なるほど! よくわかる!

電動車整備のための 電気・電子の 基礎知識

電気を制するものは整備を制す!!!

山岡丈夫 著



PROTO RIOS

なるほど! よくわかる!

電動車整備のための 電気・電子の 基礎知識

山岡丈夫 著

B5判 / 204ページ / フルカラー

定価3,630円 (税込・送料無料)

2008年から連載の「車体整備士のための
電気・電子と電装品の知識」を再編集し、
新しい項目“電動車の構造と電気回路”を
書き下ろしで1冊にまとめました。

お問い合わせ・ご注文は、
お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。

 **PROTO RIOS**
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-3-7
TEL: 06-6227-5661 FAX: 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>



エイミングを深く知るための ASVの基礎知識

第4回 エイミング忘れはDTCで分かるの？

東北大学 工学部卒業後、トヨタ自動車へ入社。アフターサービス部門に配属され、品質管理からサービス企画・改善、部品のマーケティングまで幅広い分野を担当。その後、自研センターの取締役に就任。新しいアルミ修理技法などの修理技術開発を担当し、国交省や国内カーメーカー、機械・工具メーカーなどと意見を交わした。現在は、車体整備をはじめとした整備関連業界において複数社の顧問を務めると同時に、セミナー講師やコンサルタントとしても活躍。



佐野 和昭
SANJO KAZUKI

補足 第3回連載で特定整備の対象車両の見分け方についてAEBを例にして説明しましたが、LKASいわゆるレーンキープの場合、保安基準の施行はAEBの施行より早い2017年10月10日です。したがって、AEBの保安基準施行以前のAEB装着車であっても、特定整備の対象車両となることがあるので追記させていただきます。

センサー初期化未実施のDTCの発生条件

ある損保会社の調査では、エイミングが必要な事故修理であると思われるのにエイミング工賃の請求がない件数が相当な割合あることが分かっています。その原因としては、作業者のエイミングの認識不足の問題が大きいと言えるでしょう。そこで、エイミング忘れを未然に防ぐ方策を考えてみたいと思います。

エイミング関連のDTCとしては「センサー初期化未実施」があります。しかし整備書の指示通り、センサー類の脱着・交換後にエイミングを実施していなくても、必ずこのDTCが発生するとは限りません。では、どのような条件で「センサー初期化未実施」のDTCが発生するのでしょうか？

それは、装着されていたセンサーを新品に交換した時です。センサーの損傷などによる交換なら発生しますが、センサーを再使用するために脱着する場合は発生しません。もちろん、再使用するセンサーが装着されているバンパーやガラスなどを脱着する場合も同様です。なお、この発生条件はカーメーカーや車種によって異なることはありません。

なぜセンサー脱着時には発生しないのか

新品のセンサーは、システムを正常に機能させるために必要なメモリが初期化されていません。したがって、センサー交換時には初期化が必要であることは、ECUが容易に判断できます。

しかしセンサー脱着の場合は、再使

用するセンサーのメモリがすでに初期化されており、エイミングの結果である補正角度などが書き込まれています。したがって、センサーの脱着が行われてエイミングによる補正角度の記録の上書きが必要になったとしても、ECUはその必要性を判断できないのです。

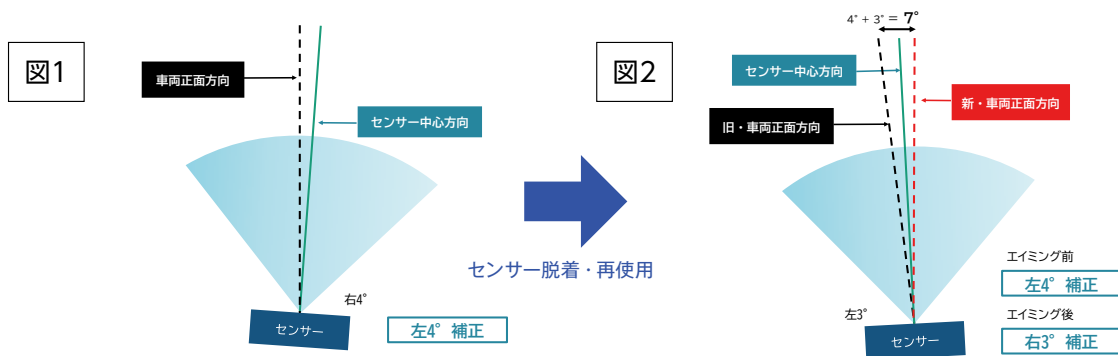
なお、システムによっては補正角度などの記録は、センサー側ではなくECU側のメモリに記録されている仕様もあるようです。この場合でもセンサーにはIDが記録されており、記録されている従来のセンサーのIDと読み出した新センサーのIDを比較し、センサー交換の有無を検知して、初期化の要否を判断しています。したがって、「センサー初期化未実施」のDTCを発生させることができるのです。

エイミング作業忘れ防止効果

センサー交換時にはDTCが発生し、警告灯も点灯し続けていますので、エイミング作業を忘れることはないでし

表：作業とセンサー初期化未実施DTCとの関係

作業	DTC		作業頻度	
	表示	消去	ミリ波レーダー	カメラ
交換	有	不可	多い(衝突)	稀(カメラ故障)
脱着	無	-	少ない(擦り)	大多数(ガラス破損)



よう。また、「センサー初期化未実施」のDTCはスキャンツールで強制消去したとしても、システム起動時などに再発生するため、結果的に強制的に消し去ることはできません。

一方、再使用のためにセンサーを脱着した場合はDTCが発生せず、警告灯も点灯しないので、エイミング作業を忘れても気付かない可能性があります。したがって、作業者が確実にエイミングの必要性をチェックする必要があります。また当然、整備主任者も完成検査時にエイミングの必要性と実施の有無をしっかりと確認する義務があるので注意が必要です。

作業とセンサー初期化未実施DTCとの関係については、表にまとめましたので参考にしてください。

センサー脱着時のエイミング作業忘れの影響

それでは、センサー脱着時にエイミングを実施しない場合、どのような影響があるのかを具体例で考えてみましょう。まず、センサーが右に4°傾いて取り付けられていた車両に対してエイミングを実施すると、センサーのメモリには「左に4°補正」が必要と記憶されます（図1）。

このセンサーを再使用するため取り外して、新品のバンパーやガラスに装着したところ、左に3°傾いて取り付けたとします（図2）。しかし、エイミングを実施しないとメモリには「左に4°補正」が必要と記憶したままです。

これに対し、新しい車両の正面はセンサー正面から右に3°のズレに変わっています。したがって、古い情報をもとに「左に4°補正」すれば、新しい車両正面から見れば左に7°のズレ方向に補正してしまいます。つまり、エイミングをしないと実際のズレの補正だけでなく、従来のズレ角度を加算することになってしまうのです。

もちろん、センサー脱着後の車両に対してエイミングを実施すれば、メモリに記憶された古い補正角度は消去され、「右に3°補正」と正しい補正角度が上書きされます。

来るOBD車検との関係

ご存じの通り、2024年10月からOBDを使った新しい継続検査制度が開始されます。通称OBD車検と呼ばれるもので、当該車両から読み出されたDTCが、あらかじめ登録されている特定DTC（保安基準を満たさない故障が推断できるDTCと定義）に該当している場合、車検不合格になるという制度です。そのため、当該車両を車検に通すためには特定DTCが消えるようにDTC発生の原因を解消しなければなりません。

この制度では、運行補助装置用の「センサー初期化未実施」が特定DTCに指定されることが決まっています。つまり、「センサー初期化未実施」のDTCが発生している状態では車検を通すことはできず、車検を通すためにはエイミングを実施し、DTCを解消

しなければいけないのです。

しかし、慌てる必要はありません。考えてみれば、車検時に該当センサーの交換をするのは極めて稀なため、「センサー初期化未実施」のDTCが発生する頻度は低いと思われます。しかも、このDTCが発生しているということは、同時にAEBなどのウォーニングランプが点灯状態にあることを意味します。つまり、そもそもOBD車検以前でも警告灯点灯の状態なので、そのままではお客様に納車できないと言えます。

結果的に、エイミングに関してはOBD車検が開始されても実務の影響は、ほとんどないと言って良いと思います。

今回の疑問に対する回答

以上から「エイミング忘れは、センサー交換ならセンサー初期化未実施のDTCが発生し警告灯が点灯するので分かるが、センサー脱着時は発生せず、警告灯も点灯しないので分からない」となります。したがって、センサーを脱着した場合、エイミングの必要性に関して作業者はもちろん、整備主任者もしっかり確認してエイミング忘れがないように充分注意してください。

なお、エイミングとDTCの関係、OBD車検との関係はオンラインセミナーの管理編、センサー脱着による影響は実践編の中で分かりやすく解説します。是非、受講いただければ幸いです。（つづく）

特定整備オンラインセミナー



「管理編」

初回特別価格
3,300円(税込)

好評連載中!

「エイミングを深く知るためのASVの基礎知識」の筆者が語る
ここだけが聞けない
特定整備セミナー

特定整備オンラインセミナー「管理編」

分野	項目	内容
背景	自動運転車の進化	現在の進化状況と今後の見込み
	対象車と対象作業	対象車両の確認方法と対象作業の詳細
特定整備制度	指定工場の経過措置	保通証発行可否と指定工場の新規取得
	認証の取得	取得範囲の考え方と期限・実績
リスク管理	外注可否範囲と責任	工場資格による作業範囲と責任
	作業漏れのリスク	角度ずれによる影響と訴訟リスク
輸入車	輸入車への対応	独各社の作業方法概要と対応ハードル
OBD車検	OBD点検・OBD車検	両制度の相違点比較と特定整備への影響

配信期間その1

7/19 (水) 18:00～
7/25 (火) 18:00

締切:7/18(火)12:00まで



配信期間その2

7/26 (水) 18:00～
8/1 (火) 18:00

締切:7/25(火)12:00まで



特定整備オンラインセミナー



「戦略編」

初回特別価格
3,300円(税込)

特定整備オンラインセミナー「戦略編」

分野	項目	内容
背景	ADAS装着車の増加	保有における装着率と将来予想
	事故修理件数の推定	件数の推定と増減の読み解き方
整備需要	事故修理需要への影響	ADAS車による修理需要への影響
	エイミング需要推定	将来の事故修理の需要推定
導入戦略	段階的導入戦略	投資分散化のための段階的導入
	内外注の使い分け	自社と外注の使い分けの考え方
機器投資	機器・工具の投資最適化	必須の機器工具の最適な選択

配信期間その2

8/2 (水) 18:00～
8/8 (火) 18:00

締切:8/1(火)12:00まで



配信期間その2

8/9 (水) 18:00～
8/15 (火) 18:00

締切:8/8(火)12:00まで



セミナー動画の視聴方法

- 1 QRコードを読み取り、クレジットカード決済で申し込み
- 2 決済完了後、申し込み時に入力いただいたメールアドレスへセミナー概要を送付
- 3 配信開始日の12:00にメールでセミナー動画を視聴できるURLアドレスを送付
- 4 お送りしたURLからセミナー動画を視聴（配信期間内であれば、何度でも視聴いただけます）
- 5 配信期間終了後、メールでアンケートを送付
- 6 アンケートに回答いただいた方にはレジユメをデータでプレゼント

注意事項

※本セミナーは、事前に録画したセミナー動画をお持ちのPCやタブレットなどでご覧になっていただけます。
※支払い方法は、クレジットカード決済のみとさせていただきます。
※決済完了後のキャンセルはお受けいたしかねます。あらかじめご了承ください。



講師
佐野和昭

本セミナーの基本となる特定整備オンラインセミナー「基礎編」をBSRwebで無料公開中！ぜひ、視聴前にご覧ください。



本セミナーに関するお問い合わせはbrtc@proto-rios.co.jpまで



一般整備機器

必要時に必要な場所で効率的にオイル交換

移動式半自動オイルチェンジャー 「配管いらずHK-240」

乗用車から大型トラック・バスまで対応する、移動式半自動オイルチェンジャー。オイル配管はもとより、新油ラインと廃油ラインに接続する従来の機器がすべて不要に。新油・廃油2つのタンクと、それぞれに専用ポンプを装備しているため、新油・廃油の吸引・圧送が独立して行える。エア源があればどこでも使用可能なので、油脂庫が離れている場合は、一部に配管を使用して作業ストール近くに吸廃接続口を設ける方法もおすすめ。



安全自動車 TEL 03-5441-3411

東京都港区芝浦 4-16-25 <https://www.anzen.co.jp>

一般整備機器

大型車の車高測定時間を大幅に短縮

車高測定装置 「HMS-2400シリーズ」

車両を通過させるだけで、車両の最高点を表示する測定システム。特に車高が高い大型車の車高測定時の作業効率化につながる。精度±10ミリ以内での測定が可能。設置環境に合わせて、自立支柱式と壁取付式を選択することができる。標準装備のBluetoothタッチパッド付きキーボードを使用することでUSBなどの記録媒体に測定結果ログの出力が可能。



バンザイ TEL 03-3769-6880

東京都港区芝 2-31-19 <https://www.banzai.co.jp>

一般整備機器

普通車・大型車に対応しオイル交換作業を効率化

オイルサービスステーション 「SKR81」

発売以来、「オイル交換作業が効率よく、楽に行える」と評判のオイルサービスステーションが利便性とデザイン性を追求してモデルチェンジ。側面にパンチングパネルを配置し、整備スタイルに合わせてスプレー缶ホルダーやレンチホルダーなどをセッティングできる。サービスステーション本体のみの他、普通車向けのオイル交換を効率化するツール類を65点セットしたタイプ（SKR814）と、大型車向け72点をセットしたタイプ（SKR815）もラインアップ。



京都機械工具 TEL 0774-46-3700

京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 <https://ktc.jp>

一般整備機器

高出力の充電式トルクセッター

トルクセッター 「ETS-800X/XL」

大型車のホイールナット脱着作業用、充電式トルクセッター。800X（ショートタイプ）は自動変速機構がなく本締め時に、800XL（ロングタイプ）は同機構が付いており仮締めからの脱着作業に適する。

3種類のトルク設定がワンタッチで切り替えられ、1バッテリーで約200本の締付け作業が可能（社内想定条件下）。



空研 TEL 072-953-0601

大阪府羽曳野市野々上 3-6-15 <https://www.kuken.co.jp/>

情報

BOX

information box

KTC

パラアルペンスキー日本チームとの パートナーシップを締結



総合ハンドツールメーカー京都機械工具（KTC、田中滋社長）は2023年4月より、世界のトップで活躍している特定非営利活動法人 日本障害者スキー連盟アルペンスキーチームの競技レベルをさらに高められるようパートナーシップを締結した。

KTCでは競技用機材のメンテナンスに関わる工具類のサポートや、最適な工具の開発に関する協業を進めている。特に、極限状態の選手の能力をさらに飛躍させるチェアスキーは、高精度の締結が求められるため、世界のトップを競う選手のチェアスキーは、障害の種類や身体の状態に合わせてカスタマイズされたものになっている。

その精密なチェアスキーは構造上、作業スペースも限られ、さらに高い締付精度も要求されることから、それらの課題に対応できるツールとして同社製品が選ばれた。

今後もニーズに応えるべく、専用の工具類の開発を行い、さらなるチェアスキーの可能性にチームとともにチャレンジしていくとしている。

ジョイボンド

古館社長がIDA 殿堂入り



アメリカに本部を構える国際ナショナルディテリングアソシエーション（IDA=国際ディテリング協会、会長：ボブ・マイヤーズ）は、2023年度のIDA 殿堂入りを発表し、ジョイボンドの代表取締役の古館忠夫氏が選ばれた。

IDAのHall of fame（殿堂入り）は、業界に大きく貢献した専門家に贈られる栄誉で、IDA協会員の投票で選出。2020年以降、毎年4～5人が選出されてきた中、日本人が選ばれたのは初めてで、古館氏が発明した「トラップネンド」が「決してなくなることはない私たちの業界の定番」と称えられた。

機工協

通常総会を開催



日本自動車機械工具協会（柳田昌宏会長）は5月29日、ホテルグランド

アーク半蔵門（東京都千代田区）で第62回通常総会を開催した。

正会員15社中13社（委任状1社）、特別会員14社中4社が出席の通常開催となった。令和2022年度事業・決算報告、令和2023年度事業計画・収支予算などが審議され、すべて可決承認された。

また、総会に先駆けて、協会職員2人を含む協会加盟各社職員の永年勤続表彰が行われ、20年以上22人、10年以上44人を代表して、それぞれ5人、3人が表彰式に臨んだ。

自機工

通常総会を開催



日本自動車機械器具工業会（山田勝己理事長）は5月30日、機械振興会館（東京都港区）で令和5年度通常総会を開催した。

正会員44社中13社（オンライン3社、委任状16社）が出席の通常開催となった。令和2022年度事業・決算報告、令和2023年度事業計画・収支予算などが審議され、すべて可決承認された。

また、理事2人の辞任に伴い、新理事としてアイシンの取締役社長 吉田守孝氏とスギヤスの代表取締役社長 杉浦安俊氏が就任した。さらに、総会終了後、正会員企業の従業員を対象に永年勤続優良従業員表彰式が行われ、7社11人が表彰された。

ロータストラックネット 総会を開催



ロータストラックネット（福島勇人代表幹事）は6月6日、インターコンチネンタル東京ベイ（東京都港区）で第20回記念総会を開催した。

冒頭の挨拶で福島代表幹事は「この1年間全国地区会に参加する中で、会員の皆さんが目の前の課題に向き合い、どのように克服していくかについて議論し、前向きな発言を多く挙げていることに大きな刺激を受けた」と、各支部及び会員の取り組みに敬意を示すとともに、引き続き各種事業への積極的な参加を呼びかけた。その後、2022年度事業及び決算報告、2023年度事業計画及び予算が審議され、いずれも可決承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、福島代表幹事が留任した。総会に続いて田村圭副代表を司会としてパネルディスカッションを開催。4人の会員がパネリストとして参加し、業界の未来や課題について議論した。

大阪府整備振興会 通常総会を開催



大阪府自動車整備振興会（藤田満会長）は6月13日、大阪商工会議所（大阪市）で第113回通常総会を開催した。

会の冒頭、藤田会長は「EVや自動車運転車、新型燃料の登場など自動車業界において技術革新が進む中、振興会としては会員事業場における各種対応に精一杯お手伝いしていきたい。その上で、2点お願いしたいことがある。まずは特定整備認証の取得。もう一つはレーバーレートを上げ、スタッフの給与と改善に努めてほしい。様々な改革を進めていくに当たり、皆様の協力と理解をお願いしたい」と挨拶した。その後、2022年度事業・決算報告、役員選任、2023年度専従役員報酬額（案）が審議され、すべて可決承認された。

全日本ロータス同友会 第8回全国大会を開催



全日本ロータス同友会（小川晃一会長）は6月15日、新横浜プリンスホテル（神奈川県横浜市）で第8回全国大会を開催した。

挨拶に立った小川会長は「車がどのような進化をしようと、メンテナンスはそれぞれの地域で行われるだろう。多くの課題に直面しているが一つひとつ解決していかなければならない。そのためには我々が経営者としての力をつけることが一番の手段だと考えている」とし、「業務管理システムであるロータスプログラムの導入はお客様を中心にと

らえて事業を進めていくに当たり、必ず必要なものとなるので引き続き推進し、2年後の50周年大会の時には素晴らしい成果を挙げて喜べるように頑張っていきたい」挨拶した。

その後、2022年年間表彰式のほか、JR東日本サービスクリエーション・齋藤泉氏による「またあなたから買いたい〜カリスマアテンダントの一瞬で心をつかむ技術〜」と題した講演が行われた。

全部協 通常総代会を開催



全日本自動車部品卸商協同組合（森川等理事長）は6月19日、アートホテル日暮里ラングウッド（東京都荒川区）で第10回通常総代会を開催した。

今回は正組員オンライン参加11社を含む50社（委任状参加9社）が参加しての通常開催となった。2022年度事業・決算報告、2023年度事業計画・収支予算案、賛助会員規約の改正案、2023年度の賦課金及び徴収方法、役員報酬、定款の一部変更などが審議され、すべて可決承認された。

また、総代会終了後にはWeb共通互換品番検索システムの年間報賞授与式、休憩時間を利用して賛助会員による小展示会も開催された。

第5回

公共の場での「声の大きさ」

コロナ禍というより一層厳しい環境だからこそ、会社を潰さないこと、後継者を育てることが経営者の務め。自身のマナーを率先して見直してみてもいいのでは？

昨日、久しぶりに新幹線に乗りいたしました。コロナ禍以前は東に行くのも西に向かうのも公共交通機関を使わせてもらい、人の話し声にも、さして何の違和感もなく聞いていたものです。

在来線の快速電車は通勤・通学の時間帯でしたが、車両の中は静かな時間でした。今から職場・学校等に向かう人たちを乗せたこの車内には大事なものがありません。何が？「ウキウキワクワク感」のエネルギーを感じられないのです。この時間を使ってアイドリングを行い、各々のスタート地点の場に着いたならば、即エネルギー全開にさせなくては時間をもったいないでしょうと思うのですが、ただただ静かでした。護送車の中でもないでしょうに……。

さて、次に乗車した新幹線では悩まされました。「大きな声」に！おばさま方の楽しい会話の声に、勘弁してくださいと申し上げたかった。女三人寄れば「かしましい」です。自分たちが今どのような場に居るのかを忘れて、声のボリューム調整が不能に陥っているとしか言いようがありません。私もおばちゃんですが、この声にはほんと疲れます。昔乙女であったおばさまたちが目的駅に着くまでに、今日の旅行行程から本日のお宿まで知ることができました。どうぞ楽しんでみてください……。

人は、声が大きくなると言葉がキツイ印象を与えます。高齢者と話をする時も同じ

で、耳が遠くなっている人にはつい大きな声で話しかけてしまいます。叱りつけているように、周りの人には聞こえるかもしれませんね。

さて、これで静かに本が読めるかと思いきや、通路をはさんだ斜め後の席からおじさまの声が聞こえます。隣に座っている若者に、ご自身の過去の華々しい業績や、人脈について延々と語られています。いやはや何人に聞かせていらっしゃるのやら。そして個人情報だだ洩れです。

ここで感じたことは、「声の大きさに対してもう少し意識を持ってみませんか」。人が納得する声は、低く抑えた聞き取りやすい音です。

経営者・経営幹部の人が、甲高く大きな声というのは何か重みを感じさせません。ましてや、人がたくさんいる乗り物の中、またオフィシャルな場でしゃべり過ぎるのも貫禄がなく、部下から“憧れの人”という像からもだいたい遠のくのではないのでしょうか。

場によって「声の大きさ」をコントロールすることを意識してみてください。



筆者プロフィール

原田さとみ

自動車リサイクル業の社長を26年務めた後、その経験で培った社員教育に関するノウハウを地元高松市はもちろん、日本全国の中小企業に還元し、元気になってもらいたいと日々活躍中。マナー教育を入口とした手法は、母親が子供に諭すような語り口も相まって全国にファンが増殖中。



有限会社 早蕨 (さわらび)

090-8281-6588

受付時間/10:00~18:00

在宅・リモートワーク時代の新しい人財育成「リベラルアーツ教育」を展開中。リベラルアーツ(多様な知識を学ぶ)教育を行う目的は、広い視野で物事を判断できる力を養うことです。詳細はこちら↓

<http://sawarabi.biz>



第5回 「クルマ売ってください」という切り口

今回は、とある整備工場の事例を紹介したい。こちらの経営者は、今後の業界で勝ち残っていくために、これまでの車検や整備だけでなく、車販を強化しなければ顧客が減少してしまうとの経営危機を感じていた。そこで数年前から、店頭で10台ほどの中古車を展示、プライスボードやPOPも取り付けて販売をアピールし始めた。店内にも新車カタログやポスターなどの演出をし、来店される顧客へのアピールに注力した。

しかし、「車を購入したい」という顧客は現れず、なかなか成果にはつながらない。

焦りを感じ始めた社長は、整備で入庫する仲の良い顧客に声をかけ始めた。「うちでもクルマ買えるんだよ」。しかし、顧客からは「そうか、考えとくよ……」といった遠回しなお断りばかり……。

さて、この要因は何だろうか。こちらの整備工場は、車検や整備の評判は上々なのだが、「車検整備のお店」の印象が強過ぎて、顧客には車販の認知がなかった。また、車はディーラーや販売店で買うものという意識が強い顧客にとって、「クルマ買

ってください」というアプローチは、どんなに仲が良かったとしても、売り込み感が強く抵抗がある。そのため、新車のカタログや中古車を展示する程度では、車販案件を発掘することは難しかったのである。

そこで、弊社のコンサルタントが社長にお勧めしたのは、「クルマ売ってください」という買い取りのご案内だった。

まずは、オイル交換や車検の作業が終わり、出庫のタイミングで、従来の「クルマ売ってますよ」という営業ではなく、「高く買い取りしますので、乗り換えの際はぜひ査定だけでもさせてください」と声をかけた。特に付き合いの長い顧客には、「〇〇さんのお車はうちの整備履歴がしっかり残っているので、高く買い取れるんですよ」と付け加えた。

また、車検半年前の顧客を対象に「買い取りDM」を送付。代替えの意向がある顧客や走行距離の多い車には、DM送付だけでなく、車検の早期予約のご案内を兼ねて、電話のアプローチを行った。

この活動が想像以上の成果を生んだ。「ちょうど乗り替えを考えてたん

だけど、今の車いくらになる?」、「ディーラーで新車の購入を考えてたんだけど、下取りが安いんだよね」

こんな反応が相次ぎ、買い取り査定予約がどんどん増えていった。もちろん、来店の際には、今の車の査定や買い取りの商談だけでなく、次の車の提案を行い、新車や中古車の販売が増えたのは言うまでもない。

色々と策を講じながらも、乗り替えの相談などは一切なく販売に苦戦していたこの整備工場にとって、今回の出来事は衝撃的だった。

この事例で重要なのは、車の売却先を決めているユーザーはほとんどいないということ。新車購入はディーラー、中古車は販売店、整備は整備工場、カー用品は用品店というように、多くのユーザーは、用途に応じて利用するお店を選んでいるが、買い取り専門店は一般的ではない。「クルマ売ってください」というアプローチは、すでに関係性のできている整備工場であれば敷居が低く、顧客の記憶に残り、乗り換えのタイミングで声がかかるとなる。

車販の案件発掘に悩む整備工場様には、ぜひお試しください。



筆者プロフィール

株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

いづみの車検予約やってみた

第5回

ネット集客の告知③

→LINE 公式アカウントについて解説



みなさまこんにちは! ヤマウチの人見です。今月号では、ご興味をお持ちの方が多くであろう「LINE公式アカウントの活用」についてご案内させていただきます。

LINEとは、SNS (Social Networking Serviceの略) のひとつで、主に個人間のコミュニケーションを促進するアプリです。2011年に初版リリースですから歴史はまだ浅いのですが、その勢いはとどまるところを知らず、2023年4月現在の日本における普及率はなんと83.7% (NTTドコモ モバイル研究所調べ) となりました。ここまで普及すると、もはや生活インフラのひとつと言っても過言ではないのでしょうか? 現に小学校からのお知らせに、LINEを活用しているというお話も聞きますもんね。きっと、皆さまも、1対1での対話だけではなく、グループLINEをこしらえて複数の方とのコミュニケーションも楽しまれていることと思います。

そんな大人気のLINEですから、企業がこぞって販促に組み込みたくなるのは当然のことだと思います。オリジナルでこしらえたアプリのように、わざわざお客さまにダウンロードいただくなくとも「ともだち」登録さえしていただければ企業が発信したい情報をカンタンにお届けすることができるわけですね!

しかしですね、皆さまが普段使われているLINEをそのまま販促に使うとなれば、若干難しい問題が生じます。と申しますのが、グループLINEだと、そのグループに登録している方のみが見られるオープンスペース (これをトーク画面と言います) にて自由かつ平等に情報を発信することができるため、企業が「今日はオイル交換を半額でやりますよ!」と

発信したとしても「安い!」とか「いくらですか?」とか「予約って必要ですか?」などなど、勝手気ままに書かれたコメントの渦で、肝心の告知がトーク画面から流れてしまうんです。「ん? なんかコメントがにぎわってるけど、いったい何が安いんやろか?」。これでは販促とは言えませんよね?

ですから企業用に「LINE公式アカウント」というサービスが用意されているんです。こちらを使いますと、トーク画面から企業発信の情報が流れ去ることもありませんし「その、おともだち専用のクーポン券を発行する」など、1 to 1 プロモーションができるようになります。クイズを出して、正解者には〇〇プレゼントなど、ゲーム性を持たせることもできますから、販促の可能性も大いに広がります!

ちなみに、わたしたちが販促に一番期待しているのは「実際にお店をご利用いただく」ですよね? どれほどLINE販促が素晴らしいとは言えど、受注ができなければ意味がありません。ですので、LINE公式アカウントを利用される場合は、画面下方にリッチメニューを展開することをオススメします。ワンタップで予約フォームや問い合わせフォームが展開されたり、サービス券の表示ができれば大変便利ですね! 予約を一気通貫でご利用されたい場合は是非 totoco (ととこ/整備工場に特化したクラウド型予約管理システム) まで! お気軽にお問い合わせくださいませ!



筆者プロフィール 人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数28,000人・車検台数6,000を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco (ととこ)」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ

<https://totoco.biz/>

ジーネットピット加盟工場に寄せられる多くの修理事例から人気の高い事例を紹介！

その他作業実績が盛りだくさん→<https://www.goo-net.com/pit/>

長谷川自動車 (新潟県燕市)

症状 エアコンが効かない

原因 リキッドチューブ内のフィルター目詰まり

対象車両 ダイハツ ハイゼットカーゴ S331 H23 年式



診断作業

ダイハツのハイゼットカーゴは7年以上経過すると80~90%の確率でエアコンが効かない! 冷えない! トラブルが発生するようです。

エアコンの効きが悪いとのことで入庫した今回の車両は以前、エアコンからカチカチ音がするとのことでご相談いただきました。

その時はエアコンガスが半分くらいだったので、エアコンガスを適正量にする作業をしました。カチカチ音は消えたようですが、エアコンをつけても冷えないと、再入庫です。

作業前に、真ん中辺りにある、クーラーコンデンサをサーモグラフィを使って見てみると下半分が青く冷たいことがわかります。異常です! 8月ぐらいの外気温だと、正常な場合はもう少し赤くなります。

ハイゼット系の原因のほとんどは、サーモグラフィで見ると真ん中辺りにある、少し青くなっている長方形の形をしているリキッドチューブが原因です。原因さえ分かれば、あとは部品を交換するだけです。

作業

リキッドチューブはアルミで覆われ

ていて、中を見ることはできませんが、この中にあるフィルターが目詰まりしているようです。

交換後は、エアコン配管内の真空乾燥→エアコンガスをチャージします。エアコン配管内を乾燥させることにより配管内の水分除去、不純物を除去できます。それによってエアコンの性能が上がり、エアコンの効きも良くなります。

ガスチャージも終わり、作業前と比較してみると赤い面積が増え、作業前との違いがわかります。交換したリキッドチューブも見てみると、作業前は青かったリキッドチューブですが、交換後は赤くなり温度上昇していることがわかります。

今回は、リキッドチューブの交換のみで、比較的軽傷でしたが、このような状態で使い続けると、クーラーコンデンサーまで詰まってしまう、修理費用が増えてしまいます。

カーエアコンの故障は、数万円で済むケースもありますが、20~30万かかるケースもまれではありません。最近のエコカーは燃費を良くするためにエアコンへの負担が大きくなってきています。猛暑の影響でエアコンの効きが悪いと熱中症のリスクも高まるため、注意が必要です。



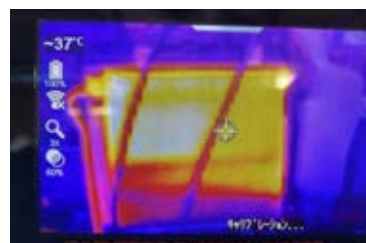
クーラーコンデンサの下半分がサーモグラフィ上では青い(冷たい)



ハイゼット系のエアコン不調の原因はリキッドチューブ



交換したリキッドチューブ



作業前は青かったリキッドチューブが交換後は赤くなり温度が上昇



第5回

買い手候補先への 提案の進め方②

実践M&A

こんな時どうする？
具体的なノウハウを伝授！

フォーバル 寺越基格

今回は、M&Aで譲渡する場合の買い手への提案についてお話ししました。繰り返しになりますが、重要なことは、

- ① 秘密裏に進めること
- ② 自社の強みと弱み（課題）を
しっかり伝えること
- ③ M&A検討中も会社の成長を
止めないこと

です。この3点を念頭に置きながら、

- (1) ノンネームシートの提示
- (2) 企業概要書の提示
- (3) トップ面談

という順に進み、企業概要書が重要であること、またご自身で企業概要書の作成やM&Aの検討に必要な情報を盛り込むことは難しいことからアドバイザーの活用が望ましいことなどをお話しました。

今回は前回の補足をさせていただきます。重要なポイントあげた、①秘密裏に進めることについてです。

かつては、M&Aは身売りだと言われた時期もありましたが、今ではもはや特別なものではありません。近

隣でM&Aで譲渡したことを聞いて、「うまくやったなと思うよ」という感想を持つ方も多いのではないのでしょうか。

とはいえ、中には「おれ会社売るから」と地域の集まりの中で堂々と話す方もいます。私としては、そういった行動は望ましくないと思っています。

変化に反対意見は付き物です。特にまだ何も確定していない中で変化をほのめかすことは、今後の会社の成長だけでなく存続にも影響を及ぼす可能性があります。

具体的には、たとえば、従業員への影響です。従業員からすると、社長が変わることは大きな影響があります。さらに相手が確定していなければ尚更です。

また、トップ面談後に良いお相手だったため、嬉しくなり、従業員に話してしまう人もいますが、これもまだ何も確定していない状態です。社長はそのお相手の方と会って話しているので、良い印象はあるかもしれませんが、従業員は会っていませんので、理解が得られず、不安と変化に対する反対意見が募り、離職につながる

こともあります。結果、買い手候補先としては、前提条件が変わりM&Aの検討が難しくなる、加えて会社としても人が減って売り上げが下がるなど悪影響が出る可能性があります。

そのため我々は開示のタイミング、開示の仕方などしっかりとアドバイスして従業員の不安を少しでも軽減するよう努めています。

また、取引先に対しても影響があります。M&Aの譲渡を検討していると聞いただけで、部品商、ディーラー、地主などが契約条件を変えてくるというリスクもあります。

取引基本契約などに基づき、M&Aの契約前に開示の必要がある場合もありますが、契約書に従って必要な時期に開示すれば良いのであって、何度も言いますが、まだ確定しない状況で開示していくのはリスクしかありません。心苦しい気持ちは理解できますが、秘密裏に進めることは会社を守るために重要です。



筆者プロフィール

金融機関にて中小企業への融資や経営コンサル・M&A実行支援に従事。株式会社フォーバルへ入社後、自動車整備会社をはじめ多くの中小企業のM&A支援に携わり、企業の存続及び成長に貢献。中小企業の創業理念や従業員への想いを重視し、経営者にしっかりと寄り添うコンサルタントとして、経営者からも厚い信頼を受けている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら

株式会社フォーバル

事業承継支援部

自動車アフターマーケットチーム責任者 寺越

TEL:0120-37-4086

<https://forval-shoukei.jp/>



工場概要

社長：山田昭二郎

本社＝兵庫県姫路市京町1丁目
62番地

設立：1971年

スタッフ数：112人

日本自動車ガラス販売施工事業協
同組合組合員

日刊自動車新聞社
第2回整備事業者アワード2023
特定整備対応賞受賞



工場ルポタージュ

MAINTENANCE SHOP REPORTAGE

[大阪府大阪市]

小田安全硝子 大阪営業所

14拠点のうち13拠点で認証取得 業態変革にまい進する新たな自動車整備経営の形

西日本最大の自動車ガラス事業者がチャレンジを続けている。特定整備の様々なレギュレーションをクリアし、自動車整備の上流へ。イノベーションを目指す小田安全硝子の取り組みをレポートする。

チャンスとらえて いち早く業態変革に着手

2020年に道路運送車両法が改正され、特定整備制度がスタートした。その中で特に大きな影響を受けた業態は自動車ガラス事業者だと言える。特定整備対象車のフロントガラスの脱着が電子制御装置整備になったことで、自動車ガラス事業者は認証取得が急務となったからだ。

その変化の兆しを察知し、特定整備開始直後、いち早く業態変革に取り組んだのが、1971年（昭和46年）創業の小田安全硝子である。兵庫県を中心に全14拠点を有する西日本最大規模を誇る同社は、すでに13拠点で特定整備認証（電子）を取得した。社員112人のうち、20人の社員が二養講習に通い、自動車整備士資格、整

備主任者を取得、認証要件を次々にクリアしていった。要件を満たさない事業場は離れの作業場のルールを活用、今夏には全拠点の認証工場化が達成される見通しである。

エイミングだけの依頼も増加 本格運用で需要拡大を期待

同社の常務取締役、武内寛和氏は特定整備制度について、「チャンスだ」と感じたという。しかしながら、認証取得への道は容易ではなかった。「この経過措置の4年間をいかに利用できるかがカギだった」（武内常務）。前述した認証要件に加え、少しずつ設備投資をしながら対応カーメーカー（車種）を増やしていった。

2022年の実績のうち、ガラス交換の施工台数は全社で1.6万台。このうち、エイミングの施行は約5,000台に

及ぶ。単価アップはもちろんのこと、エイミングは大きな収益源となった。営業マネージャーの岸本晃尚氏は「同業者がガラス交換だけを行い、エイミングのみ弊社に依頼するケースや、車体整備事業者がエイミングを行えず、納車後に自動車ユーザーからエイミングを依頼される事例が増えてきた。今後特定整備の本格運用が始まれば、さらにエイミングだけの依頼が増える可能性がある」と語る。その本格運用まで残すところあと9ヵ月となり、輸入車のエイミングにも力を入れ始めた。

武内常務は「輸入車の電子制御装置整備もカバーして、地域のシェアを拡大したい」と意気込んでいる。なお、同社は日刊自動車新聞社が主催する第2回整備事業者アワード2023で特定整備対応賞を受賞した。



スキャンツールに慣れることから認証取得への道は始まった。全拠点で約50台のスキャンツールを保有。

MSC 感動夢工場が第2回定時総会・研究会を開催

地域社会に貢献し、サービスを通じて顧客に感動を与えるべく、事業経営のあり方を研鑽錬磨する組織「MSC 感動夢工場」（山崎太会長）は、6月15日に相鉄グランドフレッサ東京ベイ有明（東京都江東区）で第2回定時総会・研究会を開催した。研究会ではフロントオフィスの野崎英直氏を講師として、「持続可能を実現する社員の成長と定着」のテーマで講演を行った。

MSC 感動夢工場 山崎太会長



令和4年の自動車整備白書を見ると、売上高などが伸びる中で、唯一、整備士の数だけが減っている。整備士がいないのは、皆肌で感じていると思うが、私も専門学校を卒業して30年経つが、自分がいた時とどのぐらい違うのかというと、当時の2割ぐらいしか学生がいない。潰れる学校もある。

当社も日本人の採用を続けてきたが、長続きしなかったり、採用しても入社しなかったりすることがあった。そこで外国人技能実習生を6年前から採用し始めた。その結果分かったことは、やはり人数が確保できれば、生産性も上がって、売り上げも上がった。

皆さん、実習生というと、「採用したいけど、本当に大丈夫なのかな？」と不安を抱く人が多いだろう。現実的には特に、考えているほど違和感もないし、問題もないので、検討してみたら良いと思う。

持続可能を実現する社員の成長と定着

フロントオフィス 代表取締役 野崎英直氏

1. 時代はフローからストックへ
2. 持続可能（SDGs）を実践する！
3. 社員の成長と経営のメリット
4. 社員が育つ環境と育成の実践
5. 社員が定着する条件
6. マネジメントとは"人間力"づくり
7. リーダーの責任感が部下を育てる！
8. 整備技術を活かす知識と情報

上記8つの項目をベースに講演。

右肩上がりに保有台数が伸びていった時代は終わり、今ある車両・顧客をいかに守っていくか、ストック市場であることを確認。売り方よりも守り方が重視される市場と言えるため、整備士の重要性がますます増している。

一方で人件費はコストに見なされるため、社員も同様に見られがちではあるが、持続可能な社会を目指すという視点で見ても社員は大事な資産であると認識を改めるべきだと強調した。

高齢化が叫ばれる整備士ではあるが、整備士の平均年齢は50.8才。従来の業界での常識からすればたしかに年齢は上がっているのかもしれないが、一般企業で50才と言えば家庭を持っていれば子供の教育費が必要だったりするなど、まだまだ働き盛りであり、人手不足を嘆くことなくその働きに期待すべきだとした。もちろん、そこには

仕事へのモチベーションが立ちはだかるため、働きやすかつ高い生産性を生み出せるような労働環境の実現や待遇改善は経営者の務めである。

近年、入社したものの、すぐに退職というケースが業界を問わず散見される。定着させるための条件は、入社したらどんなキャリアが積めるのか、仕事を通じてどんな欲求を満足できるのか、収入はどのように伸びていくのか、社内外でどんな評価を受けるのかを明示しておくことだが、その根底にある「どうしても定着させる」という経営者、リーダーの本気度がポイントとなる。

すなわち、リーダーの責任感が部下を育てるのであり、普段から社員、部下に向き合っているかどうか、社員の動きぶり働きぶりに対して「満足」のレベルを超えて「感動」、「感謝」を覚え、またそれを伝えているか、人間力が試されるのがマネジメントなのだ。





いつかその時はいつ来るのか？

熟知することの功罪

長年同じ仕事に携わってくれば、自然と分かってくることも多い。ましてや、広く一般向けの出版社ではなく、自動車アフターマーケット関連業者向けに特化した出版社・業界に身を置く筆者であればなおさらで、自ずと自分なりの自動車アフターマーケット像が確立されてくる。

これが良いほうに作用すれば、業界に求められているニーズを的確にとらえて、情報誌の読者もうなぎ上り、単行本においてもヒット連発……いわゆる無双状態となる。

しかし、悪いほうに作用すれば、「この業界はこういうことが求められているから、その逆をやっては（絶対）ダメ」と変なレッテルを貼りかねない。もちろん業界分析はあって然るべきではあるのだが、「こうだ!」と決めつけ過ぎるのは時には阻害要因になりかねない危険性もはらんでいる。

DX化に全振りするのは整備業界にとっての悪か？

さてそんなわけで、先日、自動車整備機械工具の展示会、第37回オートサービスショー 2023が4年ぶりに開催された。今回話題となったのはその動員の仕方。無料で入場できる招待券を廃止し、事前の来場登録はすべて専用Webサイトで行う方式へと改められたのだ。この事実を知って、自分の中でのアフターマーケット像に従い、「どんなに世の中でIT化が進もうとも、なぜなかなかIT化が進まない自動車整備業界だけに、Webありきの動員では苦戦するのでは？」と思った次第。実際、行く先々の業界関係者も同様の心配をしていた。

そんな一方で、自動車整備関連の某団体の総会を取材した時のこと。会員有志によるパネルディスカッション

が行われたのだが、登壇者の一人が「ウチはWebサイトやSNSなど、様々なITツールを駆使している。こんなに便利なのに、なぜみんな使わないのか不思議でならない」といった趣旨の発言をしていたのだ。

このコメントはイベントの流れ的に、さほど突っ込まれることもなかったのだが、少なくとも自分にはぐさっと突き刺さった。長年この仕事をしているとはいえ、全国約9万工場すべてを回りきったわけでもないのに、「自動車整備業界はITとはなじみが薄い業界なので、IT至上主義とは相容れないし、無理矢理推進すべきではない」と一括りに考えていた。

しかし、前のコメントを見るでもなく、業界関係者全員が同じ考え方、行動理念を持っているわけではないし、考え方が違うからこそ、「こんな考え方ややり方がありますよ」と誌面を通じて紹介する、我々の仕事が成り立っている事実を棚に上げていたことになる。

すなわち、まだ数こそ少ない（ように見える）ものの、ITツールを活用している整備工場がまったくないわけではないし、IT活用派の整備工場が少ないことにかこつけて、DX化に全振りする施策を推進するべきでないとなしやすに否定するものでもない気づかされた。

あくまで想像の範疇だが、「その時が来たらDX化を進めるよ」というスタンスの工場が多いのだと思う。さらに、「じゃあ、『その時』はいつ来ると思っているのか？」と問えば、「分からない」工場も多いことが想像でき、このままではDX化を進めたい側はいつまでも進められないことになる。今回のWeb登録が「その時」になってくれればという思いも、事務局にあったのだらうと想像に難くない。DX化の波はいつか自社にも押し寄せるはず。御社の「その時」はいつなのだろうか？



钣金見積りと顧客管理機能が連動するのが大きな魅力

オーウィン

社長=齋藤裕也 所在地=宮城県柴田郡大河原町字新東30-7
使用ソフト=ラクロスII

中古車販売店から独立し、トータルカーサービスの提供へ

宮城県の南部に位置し、山本周五郎の時代小説「縦ノ木は残った」のモチーフとなった縦の木がある船岡城址公園のほか、味噌などでも有名な柴田郡で钣金塗装工場を営むオーウィン。

齋藤裕也社長は中古車販売店に勤めながら「自分の裁量で決めたサービスを提供したい」という思いと、「この業界にいるのならば独立を目指す」という目標を持ち、2014年に個人事業主として開業した後、2016年に法人化し、現在に至る。

開業当初は自動車販売をメインとしていたが、トータルカーサービスを目指し、钣金塗装、車検整備を行い、業容を拡大した。

現在の同社の売り上げ比率はオークション車両の加修と販売が8割を占めており、残りの2割は車両販売や事故車修理の保険仕事と車検・整備となっている。オークション車両に関して、齋藤社長は前職では仕入れ担当としており、車の目利きに対しては自信を持つ。その経験を活かし、程度の良い事

故車を買付け、修復歴が目立たないように修理し、オークションで販売している。

開業から5年目に顧客管理ソフトを導入

中古車の加修がメインだったこともあり、それまでの顧客管理や見積りはノートやエクセルを用いていたが、徐々に顧客と入庫が増えてきたことで、効率面を重視してシステムの導入を決断する。現場作業を一任されている長田淳工場長は「それまで勤めていた工場では钣金塗装見積りと顧客管理が別々のソフトで作業に不便さを感じていた。今後、整備が増えていくことを考えると钣金塗装以上に顧客管理が重要になっていくことを考えるとほかの選択肢はなかった」と話し、2021年1月にラクロスIIを導入した。

導入後、钣金塗装の見積りに関して「保険仕事はそこまで多くないが、それまでのソフトになかった指数が出るだけでなく、見積書の作成自体も容易になった」と手応えを口にする。車検整備に関してもこれまではエクセルで管理していたことで多くの時間を費や



してきたが、顧客管理機能を使うことで誰に何をどの程度の金額で作業したのかがすぐに分かり、諸経費の計算などもすぐにできるため作業効率は大きく上がったことについて「钣金塗装、車検整備の顧客管理が一緒になっているのはとても使いやすい」。

遠隔サポート、営業とともにその先を目指す

使い慣れていないシステムの導入ではあったが、サポートシステムを活用することで問題はすべて解決している。「操作に困っても遠隔ですぐにサポートしてもらえるサービスはとても助かっている。担当営業による現地対応も迅速で信頼している」と話す。

今後は、SNSなどを利活用して一般ユーザーへのアピールを強化し、車検や整備の入庫増を視野に入れるなど、先を目指した動きを意識している。システムの有効活用は企業に多くの選択肢を与えることになる実例だろう。

ラクロスII
RACROS II



齋藤裕也社長（中央）とスタッフ



钣金見積書の作成は大幅にスピードアップ



作業効率を重視し導入した測色機

クルマの一生に寄り添う
オールインワン管理システム

自動車業界の 変革期に対応!!

ラクロスII

RACROS II

High performance management system

1 FAINES連携



2 特定整備確認



3 グレード検索



4 駐車違反照会



従来のラクロスIIに新たな連携機能を加え、これからの自動車業界の変革期に対応

- ① FAINES連携…登録情報を連携し、作業点数・整備マニュアル・故障整備事例等参照
- ② 特定整備確認…特定整備の警告案内
- ③ グレード検索…自動車メーカーサイトによる正確なグレード検索
- ④ 駐車違反照会
- ⑤ その他: 輸入車諸元データ搭載

G-SCAN

OBD検査用スキャンツールに “認定” されました!

検査用スキャンツール
整備用スキャンツール
兼用機 G-SCAN Z

型式試験番号：
JASEA-KS-2

▼ 対応自動車メーカー数
国産車 11 / トラック・バス 11 / 輸入車 33

各種アフターサポート 1年無料

- ・G-SUPPORT<整備サポートセンター>
- ・診断ソフトのアップデート
国産乗用車/トラック・バス/輸入乗用車
- ・製品保証(自然故障のみ)



2024年10月から開始予定の

OBD検査(車検)の対策はお済みでしょうか? 対応には検査用スキャンツールが必須となります



Zシリーズの詳細や
ご購入前のお問い合わせ



YouTube

Zシリーズを使った
OBD検査について



PDF

Zシリーズの
総合カタログ

詳細は
製品サイト内
「技術研修会」へ

▼ すべての整備士に開放しました! どなたでもご参加いただけます。

<技術研修会> ジートレーニング G-TRAINING

明日すぐ使える 整備知識をあなたに
基礎から応用まで幅広いコースをご用意しています

大阪定期技術研修会<実技・座学>
INS 技術研修センター 大阪
8月スケジュール

お申し込みは
こちらから!



1日(火) 基礎編
2日(水) エーミング編(乗用車)、故障診断編
9日(水) 基礎編
10日(木) エーミング編(トラック)、故障診断編
17日(木) 基礎編
25日(金) 基礎編



特定整備認証ツール

TPM 史上最高のコストパフォーマンスモデル

Diagnostic Tool TPM-3



2.8インチ液晶搭載のコンパクトボディに TPM ならではの機能を網羅

TPM の基本機能

故障コード読取&消去	✓	アクティブテスト	✓	カスタマイズ機能	✓
データモニタ	✓	作業サポート	✓		

TPM ならではの特殊機能

- 完了証明書発行までを一連の作業の流れで行える エーミングモード
- バッテリー診断を行う簡易バッテリーテスト機能
- 車検や点検時の作業メンテナンスモード
- DPF 作業を簡素化させる DPF モード

対応メーカー

- 国産乗用車
トヨタ・日産・ホンダ・三菱・マツダ・スバル・ダイハツ・スズキ
- 国産トラック
日野・いすゞ・三菱ふそう・UD トラックス
- 輸入車
メルセデス・BMW・VW・アウディ・BMW ミニ・アルファロメオ

2023 年度版 エーミングデータブック



国産トラックはもちろん、トヨタ JPN TAXI やハイエース、日産キャラバンなどの商用車を収録

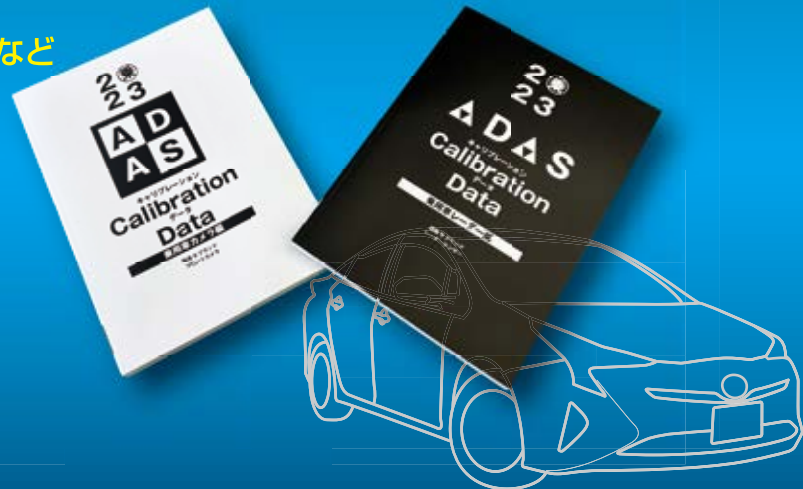
商用車カメラ編 国産商用車 12 メーカー収録
TP-DB2023-CAMERA-CV (160 ページ)

商用車レーダー編 国産商用車 11 メーカー収録
TP-DB2023-RADAR-CV (88 ページ)

トヨタ新型 EV の bZ4X、日産新型フェアレディ Z など最新のモデルを追加

乗用車カメラ編 国産乗用車 8 メーカー収録
TP-DB2023-CAMERA (384 ページ)

乗用車レーダー編 国産乗用車 8 メーカー収録
TP-DB2023-RADAR (272 ページ)



株式会社ツールプラネット

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2
TEL 058-246-1733 FAX 058-246-1736
E-mail : toolplanet@toolplanet.co.jp



<https://www.toolplanet.jp/>

楽々エーミング

エーミングサポート用アプリケーション

新機能！ペンレスモード追加

アプリケーションアップデート

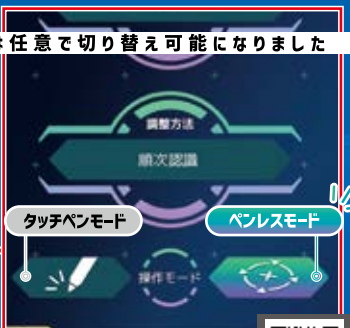


iPad の画面上に
ターゲットスタンドの
設置位置が、
表示されます

国内メーカー9社
206車種の
エーミング情報を収録



モードは任意で切り替え可能になりました



操作についての説明動画がございます



ホイールアライメントシステム PA260

コストパフォーマンスに特化した
スタンダードモデル



キャビネットと
カメラセンサー
一体型移動式



商品詳細やカタログはこちらからどうぞ

タッチレスインスペクション

Quick Check Drive
& Quick Tread Edge

タイヤトレッドを測定



ホイールアライメントを測定



車両通過時にカメラで
ナンバープレートを認識

QCD

車両を通過するだけで
アライメントやタイヤトレッドを測定



驚きの自動測定の様子をご覧ください

